

名古屋大学工学研究科物質プロセス工学専攻における人事公募について

本学は製造業の中心である中部圏に位置し、これまでに幅広い産業と連携すると共に、卒業生を輩出してきました。この背景のもと、2017年4月の改組により、従来の材料工学、化学工学に関連するグループが1つとなり、マテリアル工学科および材料デザイン工学専攻、物質プロセス工学専攻、化学システム工学専攻が発足しました。これら専攻群は、将来の社会が必要とするマテリアルを設計・解析し、合成プロセスを確立し、これを社会実装する一連の過程を、様々なスケールで考えつつ緊密に連携して進めることを目指しています。この中で物質プロセス工学専攻では、将来の社会を支える機能性材料を合成する物質プロセスに関する研究を行なっています。

今回の人事公募では、表面または界面のダイナミックな制御を行うことで全く新しい原理に基づいた機能発現を実現するプロセスや、表面または界面が関与する新規物性を活用したデバイス等を創製するプロセスに係る分野を対象としています。これらのプロセスが扱うマテリアルとしては、現在の産業をさらに発展させる、あるいは将来の産業を創出するマテリアルのほか、SDGsなど社会インパクトの大きい課題の解決につながるマテリアルを挙げることができます。

このような分野に関して、博士の学位を有し、上記分野の学部生・大学院生の教育・研究に対して十分な実績と強い熱意・意欲を持つ方、特に、独自の物質プロセスを世界に先駆けて開発することで社会インパクトの大きい学術領域を確立し牽引いただける方の応募を期待します。また、本専攻では名古屋大学未来材料・システム研究所と協力しており、着任後、未来材料・システム研究所との連携を進めていただきます。